

科目名	評価法Ⅰ(概論)
授業の目標・ねらい	学習者の習得状況を正しく判断し、よりよい学習へと方向づけるための評価方法について学びます。また、評価すること自体が学習の促進につながることもあります。この講義を通して、評価が教育活動の一環を担うだけでなく、学習活動の一環でもあることに気づいてもらいたいです。
授業内容・授業方法	1. 評価の目的と種類: 目的に応じた評価のいろいろ(診断的／形成的／総括的評価など)について学びます。また、実施されている各種日本語テストを概観します。 2. テスト理論: 古典的テスト理論の視点(信頼性、妥当性など)から「よいテスト」の条件を考えます。 3. テスト作成の心構え: テストを作るための準備と手順について学びます。 4. 学習者の評価: 「量(得点)の評価」では見えない学習者の学習状況の把握や学習意欲を促進させるための「質の評価」の考え方と手法を学びます。
予習・復習	自分がこれまでに受けた評価のいずれか一つについて、疑問・不満あるいは感心した点を例示できるようにまとめておいってください。
使用テキスト	授業時にプリントをテキストとして配付します。
参考書等	『入門日本語テスト法』(大修館書店)
講師	近藤真宣
所属	
研究分野	教育評価法、読解教育
講師紹介	①総合評価法が学習に及ぼす効果についての研究 ②チャンク・リーディングのための e・ラーニング教材による速読能力向上についての研究